

HTLV-Iウイルスの母子感染 —キャリアから生まれた児の抗体検査について—

安次 嶺 馨

要約：HTLV-Iキャリアから出生した児34人について、HTLV-I抗体を検査した。スクリーニングにはPA法（富士レビオ）、確認にはIF法（MBL）を用いた。母乳栄養児11人中2人、混合栄養児9人中0、人工栄養児14人中1人にHTLV-I抗体を認めた。全体では34人中3人（9%）が抗体陽性であった。

見出し語：HTLV-I母子感染、児の抗体陽性率

対象および方法

沖縄市内の一産科病院では、1987年よりPA法で妊婦のHTLV-I抗体のスクリーニングを行い、陽性の妊婦には原則として母乳中止を勧めている。HTLV-Iキャリアの母親から生まれた児の感染率は栄養法によりどのような影響を受けるかを知る目的で、母児のHTLV-I抗体を調べた。

キャリアの母親に手紙で検査の意義を訴え、協力を依頼した。産科病院を受診した母親とその子どもたちから採血し、血清を沖縄県立中部病院に搬送し、PA法とIF法でHTLV-I抗体検査を行った。PA法は富士レビオ社のセロディア-ATLAで最終希釈16倍以上を陽性

沖縄県立中部病院
(Okinawa Chubu Hospital)

とした。IF法は医学生物学研究所(MBL)のフルオロATLAを用いて判定した。

結果

我々の呼びかけに応じて産科病院を受診した母親は21人で、HTLV-I抗体はPA法ではすべて陽性であった。IF法では19人が陽性で2人は陰性であった。キャリアと確定した19人の母親より生まれた児で、抗体検査を施行した者は34人である。このうちPA法陽性者は4人で、さらにIF法を行ったところ、1人は陰性であった。

キャリアの母親から生まれた児の年齢は12カ月から16歳にわたっている。児の栄養法は母乳

栄養11人、混合栄養9人、人工栄養14人であった。母乳栄養の期間についてみると、1カ月3人、3カ月1人、8カ月3人、12カ月4人であった。混合栄養の期間は2カ月2人、3カ月3人、6カ月2人、12カ月1人、不明1人であった。児34人中、PA法、IF法ともに陽性となったのは、母乳栄養児2人、人工栄養児1人であった(表)。

考察

HTLV-Iが母乳を介して母から児へ感染することは、よく知られた事実である。しかし、母乳を介する母児感染の率は諸家の報告で異なっており、まだ十分なデータの蓄積がないといえよう。

筆者は今回、HTLV-Iキャリアの母より生まれた児について、母乳栄養が母児感染にどのように影響するかを知る目的で、児のHTLV-I抗体検査を行った。HTLV-I抗体のスクリーニングはPA法を用い、16倍希釈以上の凝集を陽性とした。確認試験にはEIA法、WB法、IF法があるが、今回は医学生物学研究所のIF法(フルオロATLAテスト)を用いた。従来のIF法は、MT-1細胞やMT-2細胞を用い、一般の検査室で検査を行うのは困難であった。これに対し、フルオロATLAテストは、一般検査室でも容易に行うことができる。フルオロATLAテストは、予めキャリア由来のHTLV-I感染細胞をスライドに固定してあり、キット化された試薬を用いて反応させ、蛍光顕微鏡にて鏡検する。HTLV-I抗体陽性の場合には1~50%が細胞質に特異蛍光を¹⁾発する。本法の特異性を調べた報告では、従来のPA法、EIA法、WB法、IF法(MT-2)とよく相関し、信頼できる確認検査法であると評価している。

HTLV-Iキャリアより出生した児の栄養法別抗体陽性率

栄養法	対象	抗体陽性	陽性率(%)
母乳	11	2	18
混合	9	0	0
人工乳	14	1	7
計	34	3	9

筆者の成績では、PA法陽性者25人中、IF法で陰性を示した者は3人であった。すなわちPA法によるスクリーニング陽性者のうち12%は偽陽性であった。一條らの各種検査法の検討では、PA法陽性318例中25例がIF法陰性であった。すなわちPA法陽性者中、偽陽性率は8%であった²⁾。

母乳栄養児の抗体陽性率をみると、一條ら³⁾は24例中11例(46%)、土居ら⁴⁾は37例中14例(38%)と報告している。筆者の症例では母乳栄養児11例中2例(18%)、混合栄養を含めると20例中2例(10%)が抗体陽性であった。また人工栄養児14例中1例は抗体陽性であった。今後はさらに症例をふやし、HTLV-Iの母児感染についてのデータを集積していきたい。

文献

- 1) 西村要子, 他: IF法による抗HTLV-I抗体測定。—フルオロATLAテストの有用性について。衛生検査, 38:1088, 1989。
- 2) 一條元彦, 他: EIA法, inhibition EIA法, PA法, WB法, IF法によるキャリアの検索方法の検討。成人T細胞白血病(ATL)の母子感染防止に関する研究班昭和63年度研究報告書, P 67。
- 3) 一條元彦, 他: 成人T細胞白血病の母児感

染について。日本医事新報， 3267：11，
1986。

- 4) 土居浩，他：レトロウィルスの母児感染，
小児科， 28：549， 1987。



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約:HTLV-1 キャリアから出生した児 34 人について、HTLV-1 抗体を検査した。スクリーニングには PA 法(富士レビオ)、確認には IF 法(MBL)を用いた。母乳栄養児 11 人中 2 人、混合栄養児 9 人中 0、人工栄養児 14 人中 1 人に HTLV-1 抗体を認めた。全体では 34 人中 3 人(9%)が抗体陽性であった。